



食ること 生きること



ずいぶん日が短くなり、夜には虫の声を聞き、秋が深まってきたことを感じます。秋といえば、「〇〇の秋」という言葉をよく耳にします。今月は「食欲の秋」にちなみ、食ることについて書かれた本を紹介します。

『香君』上・下

上橋菜穂子/著 文藝春秋 (913)

主人公は、物言わぬ植物や昆虫の声を香りで感じることでできる特殊な能力を持つ少女アイシャ。帝国では丈夫でたくさん収穫できる奇跡の稲・オアレ稲が突然の虫害によって食い荒らされていることに気づきます。アイシャはその能力でオアレ稲をどうやって守っていくのでしょうか。



『彼女のこんだて帖』

角田光代/著 講談社 (913)

受験生の増淵正宗はこのところ最悪な日が続いています。姉と母が家出をし、彼女に振られ、模試の結果まで…。でも、特製の手打ちうどんを作っているうちに、なんにでもなれるような気がしてきました。どんとこい!です。OLや主婦、アルバイト中の大学生、受験生など、ごくふつうの登場人物たちのひと皿を描いた連作短編集です。後半には、ちゃんとレシピが用意されています。



分類のはなし

300~399
3 社会科学
社会 福祉
職業 文化

3類には政治・法律・経済・社会福祉・労働問題・教育・風俗習慣など、私たちの暮らしにかかわることが書かれた本が分類されています。

ところが意外にも、魔法使いや妖怪についての本も3類に分類されます。これは風俗習慣に民話や伝説が含まれているからなのです。

～読書感想画中央コンクール指定図書の紹介～

『やなやつ改造計画』

吉野万理子/著

あすなろ書房 (913)

生徒会長に立候補することに決めた京座木光也は、「やなやつ」について研究してみることになる。

『ミルキーウェイ』

竹雀農業高校牛部』

堀米薫/作 新日本出版社 (913)
経済的事情から農業高校への推薦入学を希望した夢生は、「牛部」に入部することになりますが…。

『この銃弾を忘れない』

マイテ・カランサ/作

宇野和美/訳 徳間書店 (963)

スペインの内戦の中、山岳地帯を一匹の犬と旅をした13歳のミゲルの物語です。

『七月の波をつかまえて』

ポール・モーシャール/作

代田亜香子/訳 岩波書店 (933)

旅先の海辺の町でサーフィンに挑戦することになったジュイエの特別な夏の物語。

『クマはなぜ人里に出てきたのか』

永幡嘉之/文・写真 旬報社 (489)

急激な変化が起きている熊の行動を理解するためには…。





新着図書を紹介

タイトル	著者名	出版社	分類
青春ゲシュタルト崩壊	丸井 とまと	スターツ出版	913
きこえる	道尾 秀介	講談社	913
スフィアの死天使	知念 実希人	新潮社	913
僕には 鳥の言葉がわかる	鈴木 俊貴	小学館	488
自分とか、ないから。 教養としての東洋哲学	しんめい P	サンクチュアリ出版	120
タコのなぞ 「海の賢者」のひみつ 88	池田 譲	講談社	484
ナカスイ! 海なし県の水産高校	村崎 なぎこ	祥伝社	913
博物館の少女 怪異研究事始め	富安 陽子	偕成社	913
ソロモンの指環 動物行動学入門	コンラート・ロー レンツ	早川書房	481

タイトル	著者名	出版社	分類
恋に焦がれたブルー	宇山 佳佑	集英社	913
あなたの言葉を	辻村 深月	毎日新聞出版	914
陰陽師	夢枕 獏	文藝春秋	913
食卓一期一会	長田 弘	角川春樹 事務所	911
彼の名はウォルター	エミリー・ ロッド	あすなろ書房	933
マンガでぐっすり! スタン フォード式最高の睡眠	西野 精治	サンマーク出版	498
14歳のヒロシマ 被爆者が伝える戦争と 平和のはなし	梶本 淑子	河出書房新社	319
セカンドキャリア 引退競走馬をめぐる旅	片野 ゆか	集英社	645
ぼくがゆびをぱちんとな らして、きみがおとなに なるまえの詩集	斉藤 倫	福音館書店	911
トウレット症の僕が「世 界一幸せ」と胸を張れる 理由	酒井 隆成	扶桑社	916

